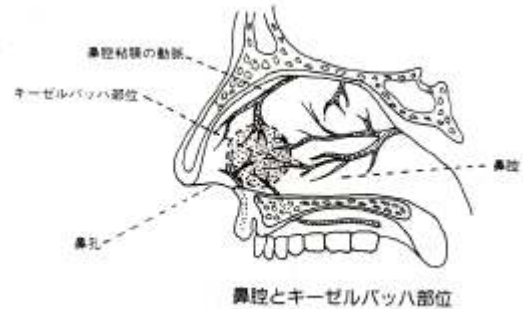


鼻腔粘膜焼灼術(電気凝固)

目的

出血している部分の鼻の粘膜を電気で凝固し、止血します。

鼻出血症の約9割の方は、キーセルバツハ部位という鼻の入り口から約2cmの場所から出血します。その部分の粘膜、血管を電気凝固するとひどい出血はなくなります。



対象疾患

- 鼻出血症

費用(3割負担; 投薬料や診察料は別途必要です)

鼻粘膜焼灼術+表面麻酔: ¥2710

説明

1. 痛みを感じないように、麻酔液をしみ込ませた綿を鼻に入れ、麻酔します。(約10分待っていただきます)
2. 綿を抜いて、出血している部位を電気凝固します。
3. 創部に軟膏を塗っておきます。終了後、鼻の吸入(ネブライザー)をしていただきます。

術後

- 当日入浴は可能ですが、あまりのぼせすぎないようにしてください。
- 術後1週間ほどは鼻にカスがたまりやすいので、何度か通院していただいた方がよいです。
- それでも出血が止まらなければ、もう一度凝固するか、ガーゼタンポンによる圧迫(3日間前後入れたままにします)で止血することになります。
- 術後1週間目くらいで、カサブタがとれるとき、少し出血することがあります。
その時は、鼻をつまんで1分くらい圧迫していただくと通常止血します。



危険性とその対応

- 麻酔: キシロカインを使いますので、麻酔薬に対してアレルギーのある人は気分が悪くなったりします。その場合はすぐに中止します。
- 鼻中隔穿孔: 何度もこの処置を繰り返しておられる場合、きわめて稀に鼻中隔(鼻の左右のしきり)に小さな穴が開くことがあります。それによる自覚症状は通常ありませんが、少し鼻が詰まるように感じる方もおられます。

